ＲＥＮＧＯ北部タイムズ

つなぐ

第 74 号　２０１７年度 総集編

発　行
連合佐賀北部地域協議会
伊万里市東山代町里 359－4
TEL:0955－20－2135
FAX:0955－20－2136
編集委員長　岩永　留美子
Email:rengoika@purple.plala.or.jp

議長挨拶

連合佐賀　北部地域協議会で議長を勤めさせていただいております渡部です。
今回の「つなぐ発刊」に際し事務局を代表し一言ご挨拶をさせていただきます。

北部地協活動では、事務局長不在の中、何とか今年度を乗り切れる見通しとなりました。これも一重に皆様のご理解とご協力によるものであり、大変なご迷惑をお掛けしたことに深くお詫びを申し上げると共に、北部地協活動を支えていただき感謝を申し上げます。

今年度も残りわずかとなりましたが、役員・幹事共々、精一杯努めさせていただきますのでご支援の程よろしくお願いいたします。

話は変わりますが、この原稿は、衆議院議員解散が宣言され、民進党議員が希望の党に合流するこが報道され連合も、まだ全容がつかめない状況の中、執筆させていただきました。

これより私個人の意見ですが、連合とその組合組織は「働くことを軸とする安心社会」を実現するため、現在検討が進められている労働法制に関する改革を特に注視しなければならないと考えております。

労働法制は、私たち働くものを守るためのものなのですが、現状の法案を見ますと、労働者の健康を引き合いに賃金体系の緩和を求めています。

このような駆け引きを容認すべきでしょうか？

しかし、意見が言えるのは国会議員だけであり、私たちと同じベクトルを持った者が私たちの思いを国会で代弁していただかなければ話になりません。

今後、連合の対応方針が明らかとなり、それに向けて対応することになると思いますが、今、合流するとか、しないとかは、各政党の作戦であり、それに対し、支援するとか、しないとかを議論することが重要なことではなく、私たちが求める理想の社会とは何か、そのために今やるべきことは何かを皆さん一人一人がしっかり考え、結論を出していただくことが最も重用なことではないかと考えます。

最後になりますが、今、働き方は早い流れの中で大きく変わろうとしております、昔のままでは現在の多種多様な働き方にはついて行けず法整備は必須の課題と考えますが、少なくとも私たち働くものを守るための法改正でなければならないと私は考えます。

北部地域協議会 議長　渡部 浩治

2017 年度　北部地域協議会　活動写真

2017 春闘総決起集会　3 月 9 日・10 日

2017 春闘連絡会・交流会　4 月 15 日

平和行動 in 長崎　8 月 8 日～9 日

防災学習体験ツアー　8 月 20 日　福岡市民防災センター

列島クリーンキャンペーン　9 月 3 日

【2017春闘連絡会・単組交流会】

４月１５日(土)１９時より有田町「森清」にて総勢１９単組３９名の参加により開催しました。ご多忙のなか連合佐賀より青柳会長にも出席いただき連合が掲げる春闘方針をはじめ各地における春闘状況などの説明や報告をいただきました。そのあと交流会に移り、出席者による自己紹介や春闘現状報告を行い、産別の枠をこえた意見交換の場となり大変有意義なものとなりました。最後に渡部議長による全単組の春闘勝利に向けた団結ガンバロウ三唱にて会を閉じました。

副議長　石橋　正教
（昭和バス労働組合）

連合佐賀　青柳会長からの挨拶

【有田地区メーデー】

４月２７日（木）１８時より有田町生涯学習センターにて開催し１２５名が参加しました。

来賓として、有田町山口町長、中村てつじ民進党佐賀県連副代表、江原かずお武雄市市議会議員、ろうきん友の会中島あつじ有田地区会長、九州労働金庫伊万里支店岩永支店長、連合佐賀新山副会長にご出席頂きました。

【伊万里・西松浦地域メーデー】

第８８回伊万里・西松浦地域メーデーを４月２８日（金）に、立花公民館で開催し、９２名が参加しました。

冒頭、２０１６年４月１６日に発生しました【熊本地震】より、１年が経過し亡くなられた方々へ黙祷を捧げ開会ました。

司会、開会挨拶を北部地協の石井事務局次長が行い主催者を代表し桑原実行委員長が挨拶、「メーデーの歴史から始まり、私たち働く者を取り巻く厳しい環境を訴え、誰もが安心して生活できる社会の実現を目指して取り組みを進めて行こう」と決意を述べました。

来賓として連合佐賀を代表して吉冨副会長、民進党佐賀県総支部連合会を代表して池田市議、九州労働金庫伊万里支店の岩永支店長より挨拶を頂き、その後メッセージ紹介、取り組み報告、スローガン採択、メーデー宣言をおこない、桑原実行委員長の団結ガンバロウ三唱で第一部の式典は終了しました。

第二部の抽選会では、今回大目玉の（プレイステーション４）が誰に当たるかで盛りあがり楽しい抽選会を開催することが出来ました。

＊賞品提供頂きました、加盟組合、友誼団体の皆様有り難う御座いました。

事務局次長　石井　誠司
（ＳＵＭＣＯ労組
伊万里長浜支部）

【唐津・東松浦地域メーデー】

４月２９日（土・祝）１０時から、「唐津市ひれふりランド」で、唐津・東松浦地域メーデーを開催し３７１名の参加がありました。

熊本地震より１年が経過し、まず、被災者の方々への黙祷を行いました。

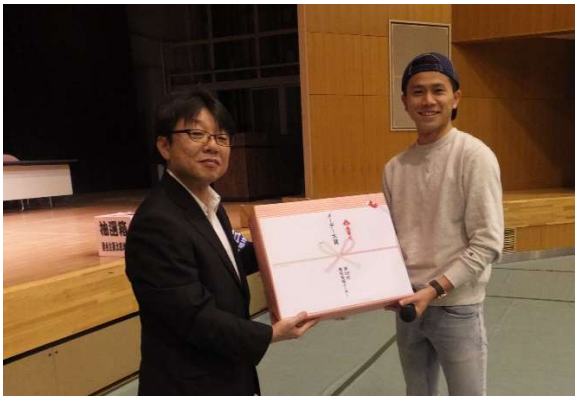
中山実行委員の開会挨拶の後、渡部実行委員長の挨拶及び連合佐賀井手副会長、大串博志衆議院議員、江口善紀県議会議員、伊藤一之唐津市議会議員、九州労働金庫唐津支店池邉支店長にご挨拶を頂きました。

祝電披露や、保利青年委員長のメーデー宣言の後、渡部実行委員長のガンバロウ三唱で式典を閉会しました。

閉会後は、青年部の進行のもとお楽しみ抽選会が開催され、成功裏に終えることができました。

事務局次長　石盛　英樹
（唐津市職員労働組合）

各地域メーデー集会・抽選会



【平和行動 in 長崎】

８月８日（火）・９日（水）の日程にて開催された平和行動には北部地域協議会より子どもを含む総勢８名が参加しました。初日は、長崎県立総合体育館にて「連合２０１７平和ナガサキ集会」に参加し長崎県知事をはじめ世界各国からの核廃絶に向けた声や行動をきくことができました。なかでは被爆者の方も演壇に立ち実体験をお話いただきました。二日目には、長崎平和講演にて「原爆犠牲者慰霊平和祈念式典」に参列後、原爆資料館を拝観しピースウォークに参加しました。今回の参加をとおして改めて核の残虚さを知る良き機会となりました。

石橋

【防災学習体験ツアー】

去る８月20日（日）、福岡市中央区にある福岡市民防災センターにおいて、災害時のいざという時のための模擬体験ツアーを開催しました。当日は天候にも恵まれ、大人46名、幼児を含む子ども21名の総勢67名の参加をいただき、伊万里発、唐津発の計２台のバス旅行となりました。参加いただいた皆様のご協力により、時間的にも余裕がある行程となり、防災センターに到着後も、体験コースが始まるまでの時間、センター内の「１１９番への通報」「水圧体験」「Ｑ＆Ａコーナー」などの施設において、子ども達だけでなく大人の方も、存分に楽しんでおられました。

また、体験コースでは、係の方の優しく、また面白い説明を受けながら、震度１から震度７までの地震体験や風速３０mまでの強風体験、消火器を使った消火訓練など、人生初の恐怖を体験することができました。あまりの怖さに泣き出してしまうお子さんもいらっしゃいました。

決して起きてほしくない災害ですが、私たちの身近なところで地震や水害の被害が発生しています。日頃から、いざという時に備えて知識の習得と、防災グッズの準備をしていくことが大切であることを改めて実感しました。また、近くにこのような素晴らしい施設があることに驚きと、一人でも多くの方に体験していただきたいという思いで防災センターを後にしました。

ツアー体験後は、参加者全員で福岡タワーの近くのレストランで昼食を食べて、各自、今年の夏の最後？の思い出づくりを楽しんでいただいたと思います。

ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。

副議長　河上　洋恵
（伊万里市職員労働組合）

強風体験

119 番通報体験

地震体験

【政策制度要求書提出】

８月24日、２０１８年度 市・町に対する予算編成に向けた政策制度要求書「12分野、20項目、47事項（玄海町46事項）統一要求」を唐津市、玄海町、伊万里市、有田町に対し提出し、９月末の回答を求めました。

（唐津市・玄海町）

宮崎副事務局長、渡部議長、石橋副議長、石盛事務局次長に加え、唐津市では、唐津市議会議員である伊藤市議、林市議に参加していただきました。

要求書提出に際し、少ない時間ではありましたが、特に観光政策の取り組みと人材確保に関する課題について意見交換を行い、玄海町では、保育士不足が深刻な問題となっており、お互いに同一の問題と認識し連合としても協力していきたいことを伝えました。

渡部

（伊万里市・有田町）

有田町への要求書提出には桑原副議長と岩永副議長、宮崎副事務局長が行いました。

今回の要求内容は、各市町共通政策12分野①経済 ②雇用・労働 ③中小企業 ④福祉・社会保障 ⑤住宅、交通・運輸 ⑥教育 ⑦食料・農林水産 ⑧消費者 ⑨防災・減災 ⑩男女平等 ⑪政治改革 ⑫公務員制度改革

なかでも観光事業に力を入れ、インバウンドでの外国人に向けたＩＣＴを活用した多言語情報の提供や観光地における無料 Wi-Fi の整備、また福祉・社会保障では子育て支援（子育て家庭の環境や保育士の充実）などを求めました。

岩永

【列島クリーンキャンペーン】

（有田地区）

８月22日（火）午後５時30分に有田地区労働会館に集合し、有田町内主要道路周辺８か所を８組合19名の皆さんで空き缶拾いや、ごみ清掃活動を実施しました。まだ照りつけるような真夏の日差しが残る中、組合員は力を合わせ町をきれいにしようと汗を流しました。

岩永

有田地区

（唐津・東松浦地区）

９月３日（日）９時に「国民宿舎虹の松原ホテル」に集合し、東の浜の清掃活動を行いました。

１３１名の方々にご参加いただき、約１時間の清掃活動で、１３０袋のごみを集めることができました。

活動前には、一見ごみはほとんど無いようにも見えましたが、いざ海岸鵜を歩き始めると、裸足で踏むと怪我するであろう多数の流木、ペットボトルや空き缶、タバコの吸い殻など、みるみるごみ袋が増えていきました。極めつけは注射針でした。海岸での清掃活動時には、「流れ着いた注射針等は大変危険なので、触らずに知らせてください」と伝えるのですが、まさか本当に見つかるとは。無事に回収し処分しました。

石盛

（伊万里地区）

９月３日（日）８時15分に国見台公園に集合し11単組８名の方に参加いただきました。

昨年は雨で延期となり参加者が少なく国見台周辺のみの清掃活動となりましたが、今年は天気も良く、国見台周辺、山代方面、黒川方面へと別れ実施しました。冒頭、桑原副議長の挨拶で「水分補給と国道沿いでもあるので安全第一で事故が無いようにお願いします」との話があり、１時間程度ではありましたが、地域の保全活動に努めました。

石井

あとがき

やっと春の暖かさが来て、猛暑の夏が過ぎたかと思ったら、いつのまにか秋が感じられるようになりました。

そして私も４月から新しい部署へ異動になり早７か月。私の職場では何年かおきに異動があり、極端に言えば、昨日までしていた仕事と１８０度まったく違う仕事をしなければなりません。年を重ねるごとに新しい事がなかなか頭に入らず辛いときもあります。少し時間はかかるけど、心機一転、新入社員の気分で（あまり若くはないんですが）新しい仕事に邁進していきたいです。

そしてまた、これから何か一つでも新しいことを始めたいなと思います。体力と、さらに栄養を付けて山登りにでも行こうかな♪

今年度は、「つなぐ」の発刊数が少なく情報発信ができずご迷惑をおかけしました。

今号は、今年度の総集編として一年間の行事をピックアップして記載しております。懐かしく思いだしていただけたら光栄です。

副議長　岩永　留美子
（有田町職員労働組合）